

函 子 企

令和4年(2022年)4月20日

報道機関各位

函館市子ども未来部子ども企画課長

寄附に係る報道依頼について

このことについて、本市に対し下記の寄附がありましたので、報道方
よろしくお願ひいたします。

記

- 1 寄附物品 絵本「ゆうまくんはスーパーヒーロー」100冊
- 2 寄 附 者 工藤 紀子 様
(小児科医：函館市出身，東京都在住)
- 3 寄附者コメント 別紙のとおり
- 4 そ の 他 この絵本は本市から市内児童福祉施設（幼稚園，
認定こども園，児童館，母子生活支援施設，児童養
護施設，乳児院等）へ配付します。

（ 子ども企画課庶務係
電話 21-3933 ）

「ゆうまくんはスーパーヒーロー」の絵本の翻訳をさせていただきました小児科医の工藤紀子です。

コロナウイルス感染拡大の広がりが続く中、命を救っているのは医療従事者だけではありません。

皆様がしてくださっている、手を洗い、マスクをし、距離をとる。

これらの行動や意識が、多くの人の命を救っています。

手を頻回に洗っていること、給食の時間、黙って食べていること、休み時間大声を出して走り回って遊べないこと、宿泊学習を含む校外学習の機会が減ったこと、お友達とおしゃべりをしてくっつくことを我慢しないといけないこと。

これらの子どもたちが頑張っていることは、実は「命を守ること」です。

自分の命を守るだけでなく、他の人の命を守ること。

ですから、子どもたちもコロナから命を守る小さな立派なヒーローたちです。

このことをぜひ子どもたちにも知っていただきたく、絵本の翻訳に至りました。

そもそも、どうやってこの本に出会ったのか。

日本では、2020年の4月7日に初めて非常事態宣言が出されました。これを受けて、慶應義塾大学健康情報コンソーシアム（SFC 研究所）は、「日本に住むすべての人の命を Covid-19 から守りたい」という思いから、「みんながヒーロープロジェクト」を立ち上げていました。その中で、有志の研究者、専門家、クリエイター、学生たちは、コロナウイルスに関するデジタルコンテンツを率先して制作していました。目的は、あらゆる世代の人々に正しい情報を提供し、感染拡大を食い止めること。ありがたいことに、私もそのメンバーに加わらせていただくことができました。

私は小児科医として、子どもたちに新しいライフスタイルをどう知ってもらうか、悩んでいました。また、コロナウイルスは正しく対処すれば、恐れすぎる必要はないことを子どもたちに伝えたいと思っていました。大人は自分たちのことで精一杯。子どもたちに情報を伝えるには、絵本など子どもの目を通して伝えるのが一番だと思い、Google で本を探したんです。そして、ニュージーランドで活躍しているフィービーさんの素晴らしい本を見つけたのです。

この本は、すでに日本語を除く数ヶ国語に翻訳されていました。そこで、フィービーさんにインスタグラムで DM を送り、日本語に翻訳させてもらえないかお願いしました。彼女は快く承諾してくれ、おかげで日本語に翻訳することができました。フィービーさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

いまこの地球上の誰もが、大人も子供も、どの地域の人も、どの職業の人も、どの人種の人もコロナウイルスから命を守ろうと頑張っています。

函館も、観光に訪れるかたが減り、以前の賑わいが減ったように思います。

また多くの人々の笑顔で溢れ、賑わう日が戻りますように。

今日もどこかで頑張ってる貴方へ

心から感謝の気持ちを込めて、ありがとうございます。

また、以前書いた記事ですが、コロナによる子どもの心の SOS についてこちらもよかったですらご参考まで。

<https://chanto.jp.net/child-health/problem/260944/>

TEL: 028-255-1111





現場で働く人だけが、 ヒーローではありません。

一人ひとり皆が、コロナウイルスと戦うヒーローたちです！



小児科専門医・医学博士。

順天堂大学医学部卒業、同大学大学院小児科思春期科博士課程修了。栄養と子どもの発達に関連する研究で博士号を取得。日本小児科学会認定小児科専門医／日本医師会認定産業医／日本医師会認定健康スポーツ医／こころ新橋保育園嘱託医／東京インターナショナルスクール中目黒キンダーガーデン嘱託医。アメリカにて子育てを経験し、現在2児の母。クリニックにて、年間のべ1万人の子どもを診察しながら、子育て中の家族に向けて育児のアドバイスをこなしている。

いまこの地球上の誰もが、コロナウイルスと戦っています。どの地域の人も、どの職業の人も、どの人種の人も。

心を痛めているのは大人だけではありません。子どもたちもです。

学校に行ってもお友達と遊べず、くっついておしゃべりできず、給食は静かに前を向いて食べ、宿泊学習もすべてキャンセル。それでも笑顔で一所懸命に頑張っています。

他の人と離れて、マスクをして過ごすこと

今頑張っていることが、多くの人の命を救うことなんだ！

それを子ども達に伝えたく、翻訳に至りました。

1日も早くコロナウイルスが収束しますように・・・

今日もどこかで頑張ってる貴方へ

感謝の気持ちを込めて、いつもありがとうございます。

令和4年 工藤紀子

また以下にある「子どもたちのためのコロナワークブック」
なぜ手を洗わないといけないのか、なぜマスクが必要なのかなど
楽しく色を塗りながら学べますようにと願いを込めて作りました。
右上のQRコードから無料でDLできます。ご自由にお使いください。



▼子どもたちのためのコロナ ワークブック



ライブで定期的に
質問会開催中

Instagram